

TREND-ONE システムチェンジ時のデータ移行の手順

データ移行の手順（BLUETREND XA 2015以降から）について解説します。

1 はじめに

BLUETREND XA の現場データと全設定をバックアップします

システムチェンジする前に、現在のBLUETREND XA環境で

- 現場データのバックアップ
- 全設定のバックアップ

をおこないます。

BLUETREND XA および TREND-ONE のインストール方法によっては、「現場データ移行ツール」「設定の移行ツール」でデータを移行できるため、バックアップデータが必要無い場合もありますが、念のためバックアップします。

スタンドアロンの場合

データを移行したいPCで、現場データと全設定のバックアップをおこないます。

サーバーインストール（共同編集なし）の場合

現場データのバックアップは、いずれかのクライアントPC1台でおこなえばOKです。

全設定のバックアップは、全クライアントPCでおこないます。

サーバーインストール（共同編集あり）の場合

サーバー現場データのバックアップは、いずれかのクライアントPC1台でおこなえばOKです。

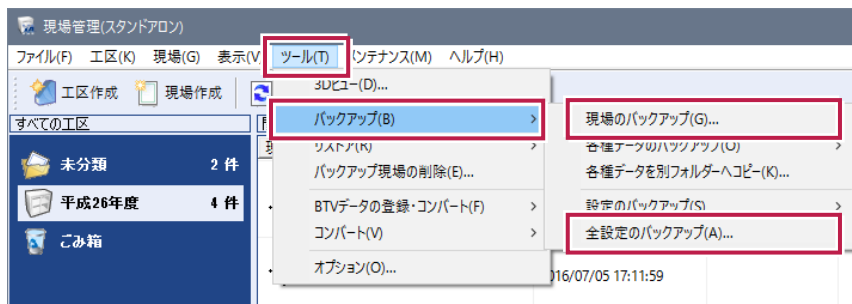
ローカル現場データのバックアップと、全設定のバックアップは、全クライアントPCでおこないます。

※ サーバーインストール（共同編集なし）（共同編集あり）で、全設定のバックアップを全クライアントPCでおこなうのは、各クライアントPCのレジストリをバックアップするためです。

BLUETREND XA のバックアップ方法

スタンドアロン または サーバーインストール（共同編集なし）の場合

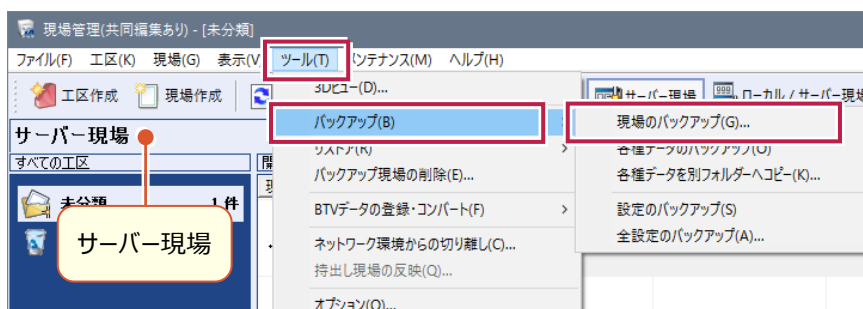
1. BLUETREND XA の「現場管理」で、現場データと全設定をバックアップします。
 現場データのバックアップ : [ツール] - [バックアップ] - [現場のバックアップ]
 全設定のバックアップ : [ツール] - [バックアップ] - [全設定のバックアップ]



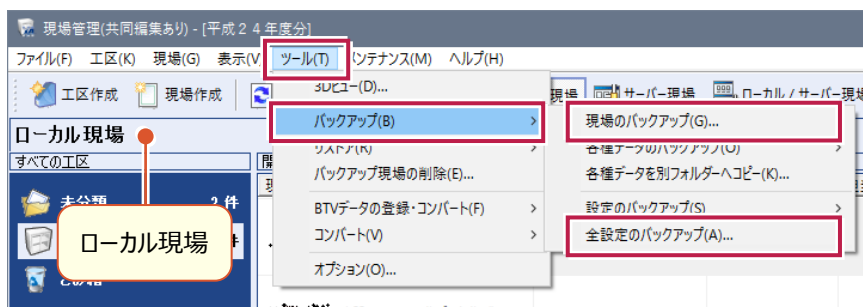
- ※ サーバーインストール（共同編集なし）の場合、現場データのバックアップはいずれかのクライアントPC1台でおこないます。
 全設定のバックアップは、全クライアントPCでおこないます。

サーバーインストール（共同編集あり）の場合

1. BLUETREND XA の「現場管理」で、現場データと全設定をバックアップします。
 まず「サーバー現場」を選択し、
 [ツール] - [バックアップ] - [現場のバックアップ]
 を実行します。この処理はいずれかのクライアントPC1台でおこないます。すべてのクライアントでおこなう必要はありません。



- 次に「ローカル現場」を選択し、
 [ツール] - [バックアップ] - [現場のバックアップ]
 [ツール] - [バックアップ] - [全設定のバックアップ]
 を実行します。この処理は全クライアントPCでおこないます。



2 必要なデータ移行の方法

データの移行の方法には、以下の5種類があります。TREND-ONE のインストールの方法によって、必要なデータ移行の方法が異なります。

- ① 「設定の移行ツール」で、全設定を移行P.4
- ② 「現場データ移行ツール」で、現場データを移行P.6
- ③ 全設定のバックアップデータから、全設定を移行P.9
- ④ 現場のバックアップデータから、現場データを移行P.11
- ⑤ 「サーバー現場移行ツール」で、サーバー現場を移行P.14
- ⑥ フリーフォーマットのデータをインポート.....P.17

下表に、BLUETREND XA と TREND-ONE のインストール方法と、必要なデータ移行の方法をまとめます。

BLUETREND XA インストール方法	TREND-ONE インストール方法	TREND-ONE インストール先	全設定の 移行方法	現場データの 移行方法	フリーフォーマットの インポート
スタンドアロン	スタンドアロン	XAと同じPC	①	②	(※2) ⑥
		XAと別PC	③	④	⑥
サーバーインストール (共同編集なし)	サーバーインストール (共同編集なし)	XAと同じPC (※1)	①	②	(※2) ⑥
		XAと別PC (※1)	③	④	⑥
サーバーインストール (共同編集あり)	サーバーインストール (共同編集あり)	XAと同じPC (※1)	①	(ローカル) ② (サーバー) ⑤	(※2) ⑥
		XAと別PC (※1)	③	(ローカル) ④ (サーバー) ⑤	⑥

※1 クライアントインストール先のPCのことです。

※2 XAの「各階平面図求積表」の初期フォームが必要な場合のみ、おこないます。

1

「設定の移行ツール」で、全設定を移行

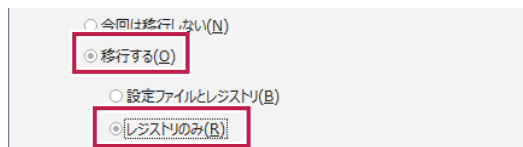
TREND-ONEのインストール先がXAと「同じPC」の場合は、プログラムのインストール時に「設定の移行ツール」で全設定を移行します。

またフリーフォーマットデータの移行も、同時におこないます。

※**サーバーインストール（共同編集あり）（共同編集なし）**の場合は

〔設定ファイルとレジストリ〕の移行は、いずれかのクライアントPC1台でおこなえばOKです。
（サーバーの設定ファイルが移行されます。）

残りのクライアントでは、下記 **2.** の手順で「レジストリのみ」を選択して移行します。



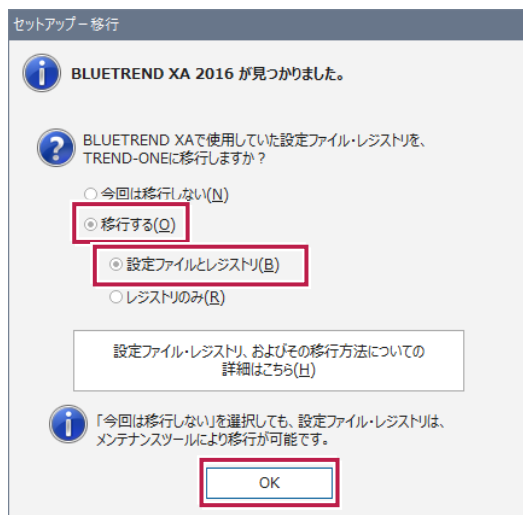
1. XAと同じPCに、TREND-ONE をインストールします。

※ サーバーインストール（共同編集あり）またはサーバーインストール（共同編集なし）の場合は、XAと同じPCに、クライアントインストールします。



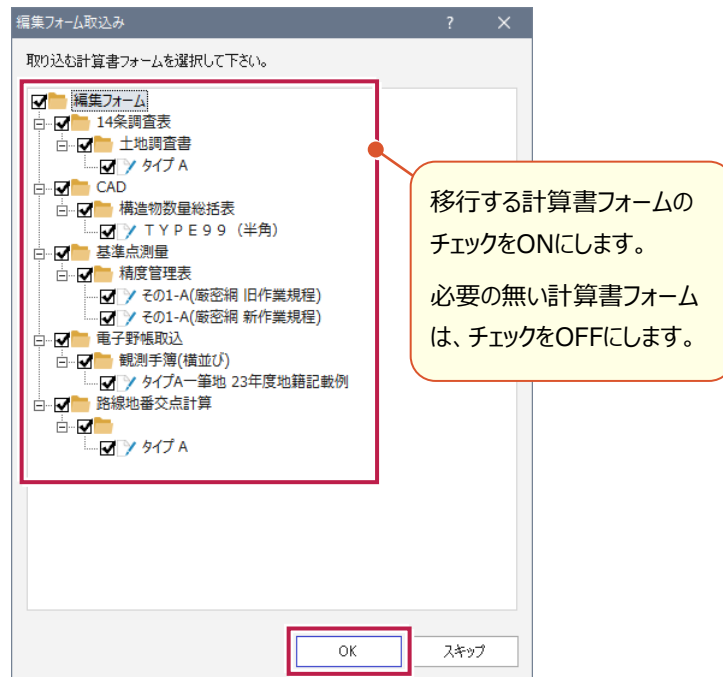
2. インストールが終わると、「設定の移行ツール」が表示されます。

〔移行する〕と〔設定ファイルとレジストリ〕を選択して、〔OK〕をクリックします。



（次ページへ続きます）

3. ユーザーが編集した計算書フォーム（フリーフォーマット）がある場合は、次の画面が表示されます。移行する計算書フォームを選択して [OK] をクリックします。



以上で全設定の移行は完了です。

※ 「設定の移行ツール」は、後から [スタートメニュー] - [すべてのアプリ] - [FukuiComputerApplication] - [メンテナンスツール] で開くこともできます。

2

「現場データ移行ツール」で、現場データを移行

TREND-ONEのインストール先がXAと「同じPC」の場合は、「現場管理」プログラムの起動時に「現場データ移行ツール」で現場のデータを移行します。

※サーバーインストール（共同編集なし）の場合は

現場データの移行は、いずれかのクライアントPC1台でおこなえばOKです。

（サーバーの現場データが移行されます。）

※サーバーインストール（共同編集あり）の場合は

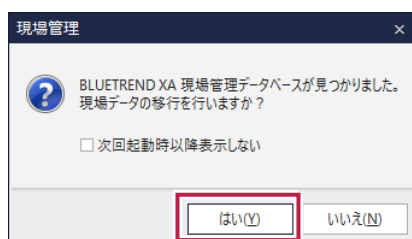
全クライアントPCで、現場データの移行をおこないます。

（ローカルの現場データが移行されます。）

1. TREND-ONEの「現場管理」を起動します。



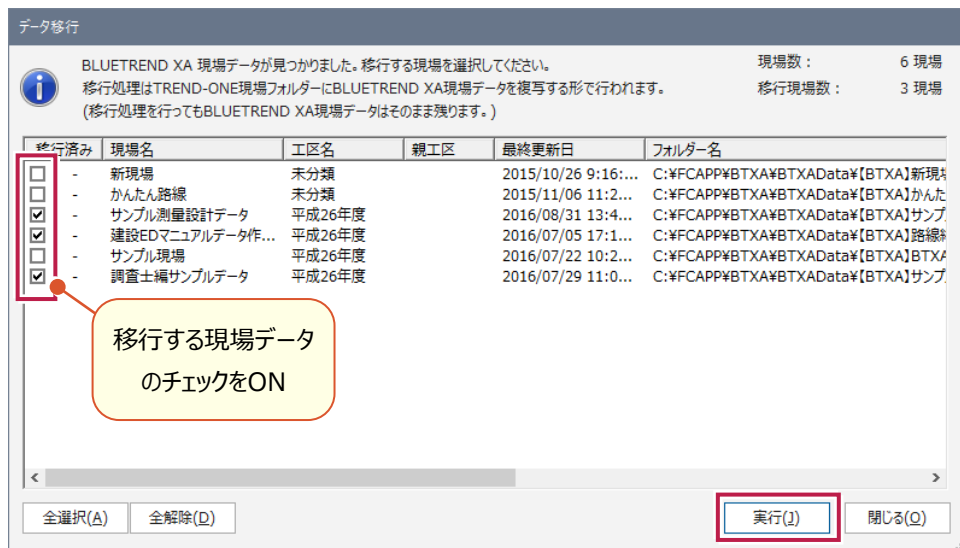
2. 「現場データの移行を行いますか？」とメッセージが表示されますので、[はい] をクリックします。



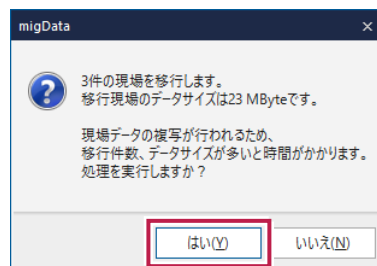
（次ページへ続きます）

3. 「現場データの移行ツール」が表示されます。

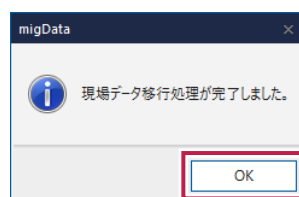
移行する現場データのチェックをONにして、[実行] をクリックします。



4. 確認のメッセージが表示されますので、[はい] をクリックします。



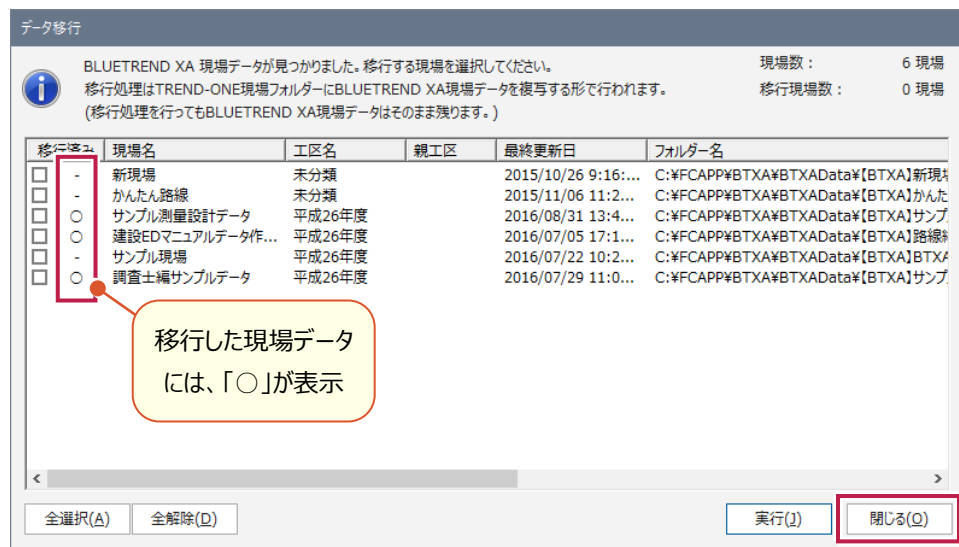
5. 移行処理が終わると完了のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



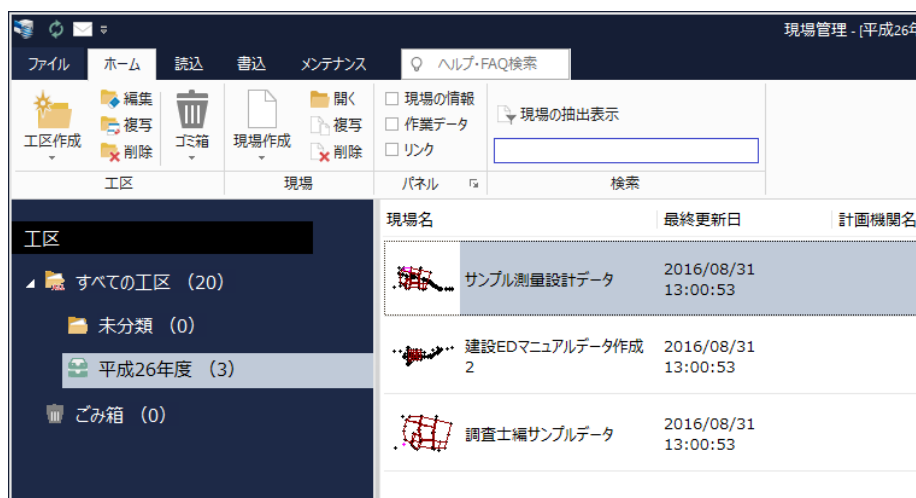
(次ページへ続きます)

6. 移行した現場データには、「○」が表示されます。

[閉じる] をクリックします。



7. XAの現場データが、TREND-ONEに移行されます。



以上でローカル現場データの移行は完了です。

※ 「現場データの移行ツール」は、後から「現場管理」の [メンテナンス] タブー [BTXA現場データの移行] で開くこともできます。



3

全設定のバックアップデータから、全設定を移行

TREND-ONEのインストール先がXAと「別PC」の場合は、「現場管理」プログラムを起動して全設定のバックアップデータから、全設定を移行します。

※サーバーインストール（共同編集あり）（共同編集なし）の場合は

各設定ファイルの移行は、いずれかのクライアントPC1台でおこなえばOKです。

（サーバーの設定ファイルが移行されます。）

残りのクライアントでは、下記 **3.** の手順で「レジストリ」のみチェックをONにして移行します。



1. TREND-ONEの「現場管理」を起動します。



2. XAでバックアップした全設定をリストアします。[読込] タブの [全設定] をクリックします。

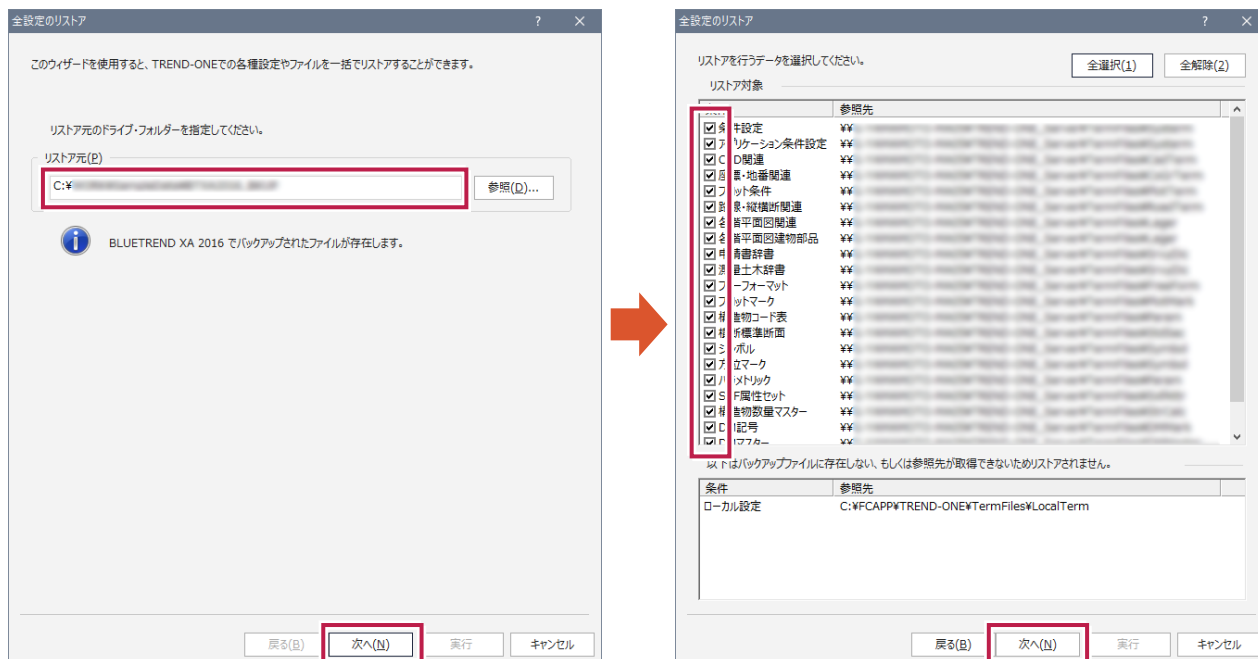


※サーバーインストール（共同編集あり）の場合は

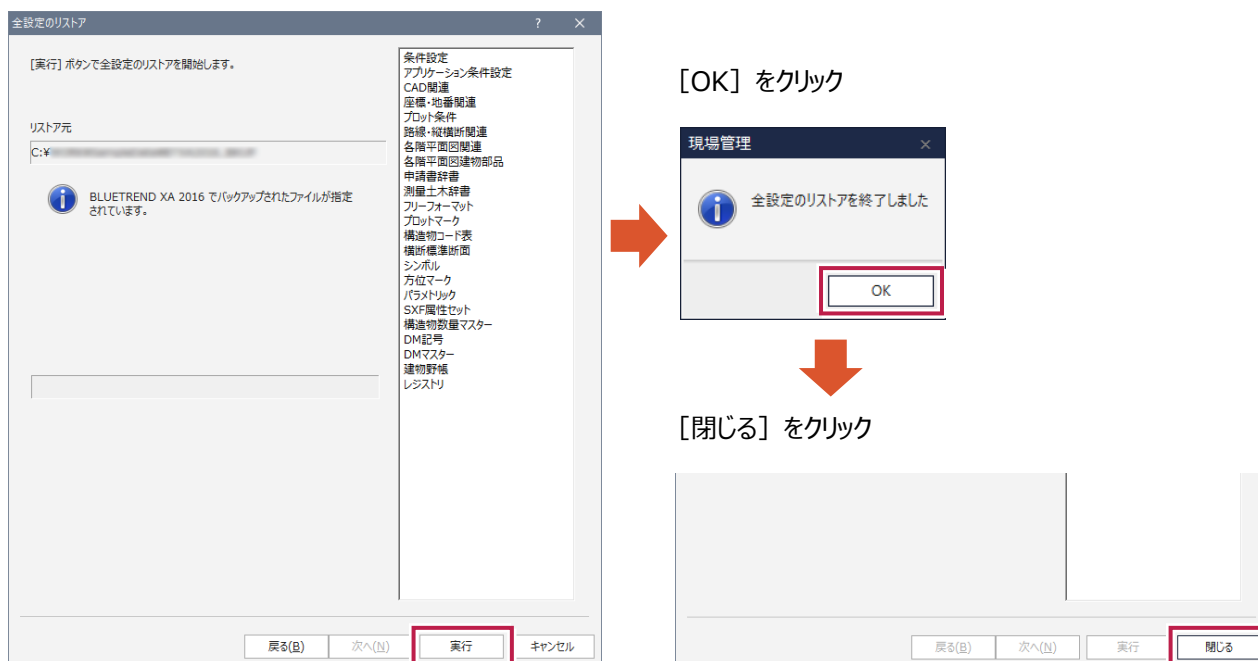
「ローカル現場」をクリックして選択後、[読込] タブの [全設定] をクリックします。

（次ページへ続きます）

3. 全設定をバックアップした保存先のフォルダーを指定して [次へ] をクリック、リストア対象の設定ファイルのチェックが全てONになっていることを確認して [次へ] をクリックします。



4. [実行] をクリックします。
移行処理が終わると完了のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックし、[閉じる] をクリックします。



5. 全設定とレジストリが、TREND-ONEに移行されます。

以上で全設定の移行は完了です。

4

現場のバックアップデータから、現場データを移行

TREND-ONEのインストール先がXAと「別PC」の場合は、「現場管理」プログラムを起動して現場のバックアップデータから、現場データを移行します。

※サーバーインストール（共同編集なし）の場合は

現場データの移行は、いずれかのクライアントPC1台でおこなえばOKです。
(サーバーの現場データが移行されます。)

※サーバーインストール（共同編集あり）の場合は

全クライアントPCで、「ローカル現場」を移行します。

1. TREND-ONEの「現場管理」を起動します。



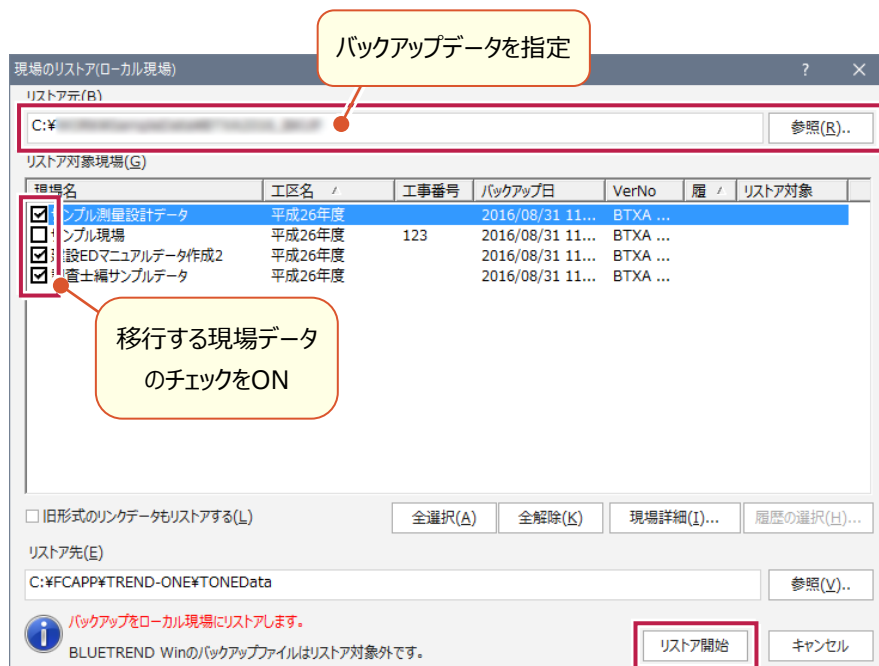
2. [読込] タブの [現場] をクリックします。

**※サーバーインストール（共同編集あり）の場合は**

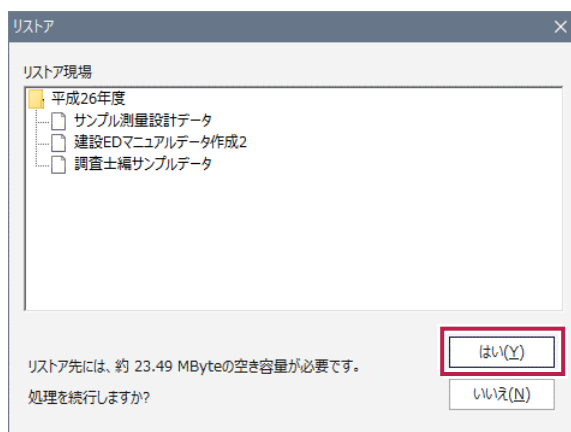
「ローカル現場」をクリックして選択後、[読込] タブの [現場] をクリックします。

(次ページへ続きます)

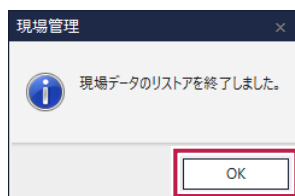
3. XAのバックアップデータを指定し、移行する現場データのチェックをONにして、[リストア開始] をクリックします。



4. 確認のメッセージが表示されますので、[はい] をクリックします。




5. 移行処理が終わると完了のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



(次ページへ続きます)

6. XAの現場データが、TREND-ONEに移行されます。



The screenshot displays the TREND-ONE web application interface. The top navigation bar includes 'ファイル', 'ホーム', '読込', '書込', 'メンテナンス', and 'ヘルプ・FAQ検索'. Below this is a toolbar with various icons for data management. The main content area is divided into three sections: 'リストア', '登録', and 'コンバート'. The '登録' section contains a table with the following data:

現場名	最終更新日	計画機関名
サンプル測量設計データ	2016/08/31 13:00:53	
建設EDマニュアルデータ作成 2	2016/08/31 13:00:53	
調査士編サンプルデータ	2016/08/31 13:00:53	

以上で現場データの移行は完了です。

5

「サーバー現場移行ツール」で、サーバー現場を移行

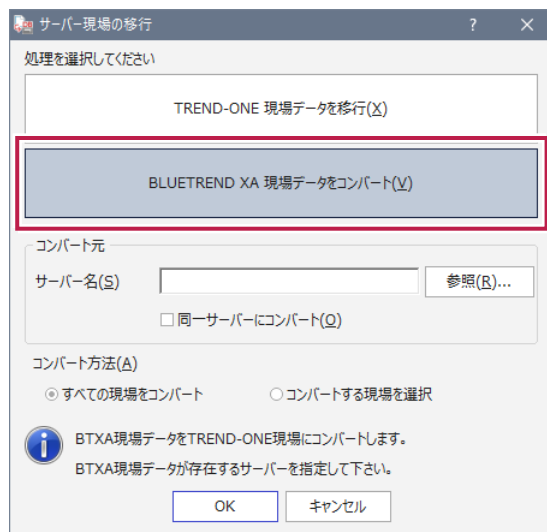
サーバーインストール（共同編集あり）のサーバー現場は、「サーバー現場移行ツール」で移行します。

1. サーバーのデスクトップに作成される、「TREND-ONE サーバー現場移行ツール」を起動します。

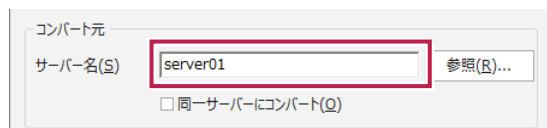


2. 「サーバー現場移行ツール」が表示されます。

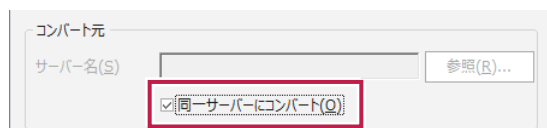
[BLUETREND XA 現場データをコンバート] をクリックします。



3. [サーバー名] にXAのデータがあるサーバー名（¥¥は不要）を入力します。



XAと同じサーバーにTREND-ONEのサーバーをインストールした場合は、[サーバー名] を入力しないで、[同一サーバーにコンバート] のチェックをONにします。



(次ページへ続きます)

4. すべてのサーバー現場を移行する場合は、[すべての現場をコンバート] を選択します。
サーバー現場を選択して移行する場合は、[コンバートする現場を選択] を選択します。
※ 大量の現場をコンバートすると時間がかかります。

コンバート方法(A)

すべての現場をコンバート コンバートする現場を選択

5. [OK] をクリックします。

サーバー現場の移行

処理を選択してください

TREND-ONE 現場データを移行(X)

BLUETREND XA 現場データをコンバート(Y)

コンバート元

サーバー名(S) 参照(R)...

同一サーバーにコンバート(Q)

コンバート方法(A)

すべての現場をコンバート コンバートする現場を選択

i BTXA現場データをTREND-ONE現場にコンバートします。
BTXA現場データが存在するサーバーを指定して下さい。

OK キャンセル

[コンバートする現場を選択] を選んだ場合は、移行する現場データのチェックをONにして、[開始] をクリックします。

現場の選択

コンバート対象工区(K)

全工区

未分類 (0)

平成26年度 (3)

コンバート対象現場(G)

現場名	工事番号	工区名
<input checked="" type="checkbox"/> サンプル測量設計...		平成26年度
<input checked="" type="checkbox"/> 建設EDマニュアルデ...		平成26年度
<input type="checkbox"/> 調査土編サンプル...		平成26年度

移行する現場データのチェックをON

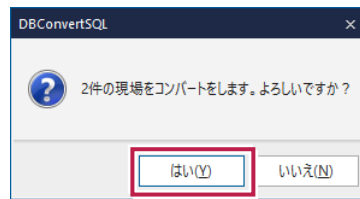
全選択(A) 全解除(N)

開始 キャンセル

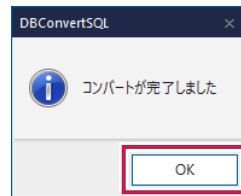
w ごみ箱内の現場はコンバート対象外です。

(次ページへ続きます)

6. 確認のメッセージが表示されますので、[はい] をクリックします。



7. 移行処理が終わると完了のメッセージが表示されますので、[OK] をクリックします。



以上でサーバー現場の移行は完了です。

6

フリーフォーマットのデータのインポート

- XAの「各階平面図求積表」の初期フォームをTREND-ONEでも使いたい場合
(TREND-ONEでは新しいフォームがインストールされています。)
- TREND-ONEのインストール先がXAと「別PC」で、XAで作成・編集したフリーフォーマットのデータがあり、そのフォームをTREND-ONEでも使いたい場合

は、「フリーフォーマット作成」プログラムを起動してフリーフォーマットデータをインポートします。

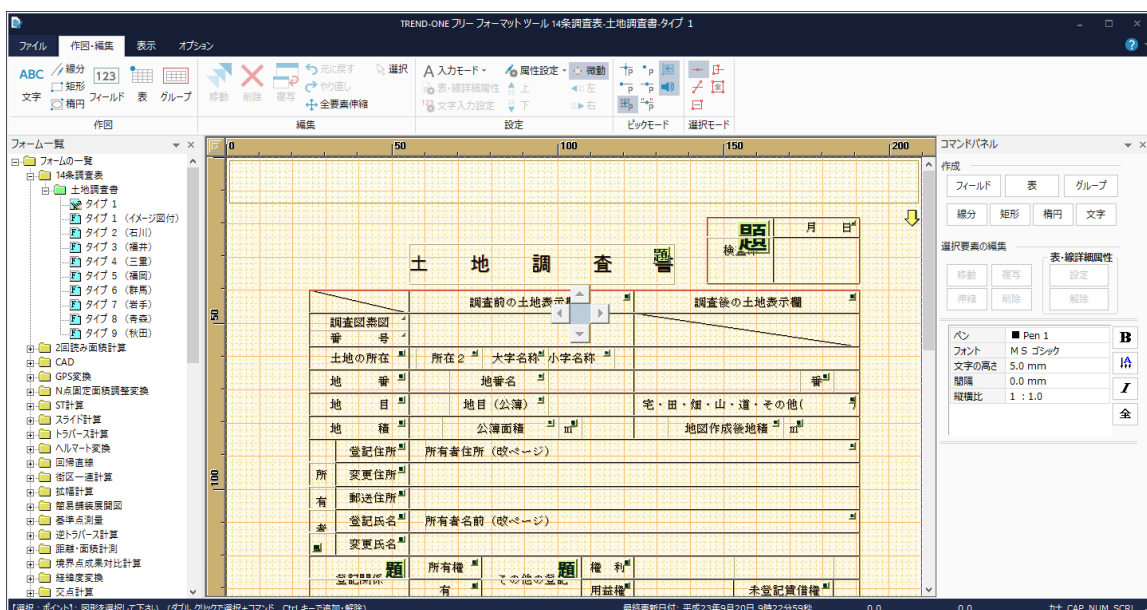
このフリーフォーマットデータの移行は、**3**「全設定のバックアップデータから、全設定を移行」(P.9)を終えてから、おこないます。

※フリーフォーマットのデータのインポートは、環境にもよりますが「30分～1時間」以上かかる場合があります。ご注意ください。

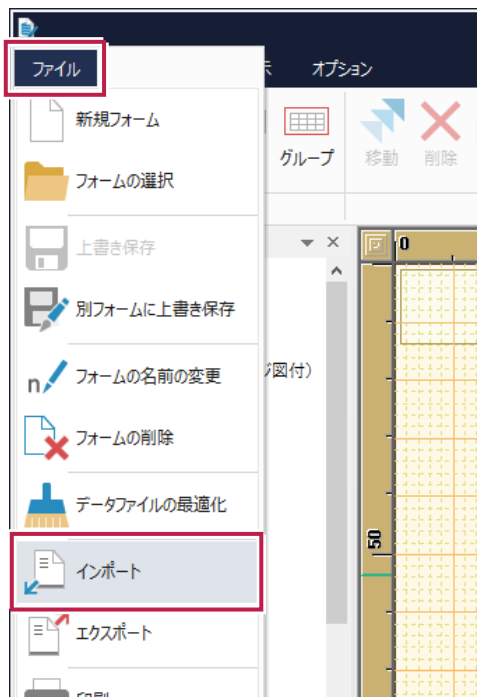
※サーバーインストール（共同編集あり）（共同編集なし）の場合は
フリーフォーマットデータのインポートは、いずれかの1台のクライアントPCで移行すればOKです。
(サーバーのフリーフォーマットデータにインポートされます。)

1. 「フリーフォーマット作成」プログラムを起動します。

- Windows10 の場合
[スタート] ボタンの [すべてのアプリ] - [FukuiComputerApplication]
- Windows8.1 の場合
スタート画面の [アプリ画面] - [FukuiComputerApplication]
- Windows7 の場合
[スタート] ボタンの [すべてのプログラム] - [FukuiComputerApplication] - [TREND-ONE Ver.1 ツール]
から [フリーフォーマット作成] を実行します。



(次ページへ続きます)

2. [ファイル] タブー [インポート] をクリックします。**3.** 「全設定の移行」でXAから移行されたフリーフォーマットデータファイル「FftV5.Dat」を開きます。

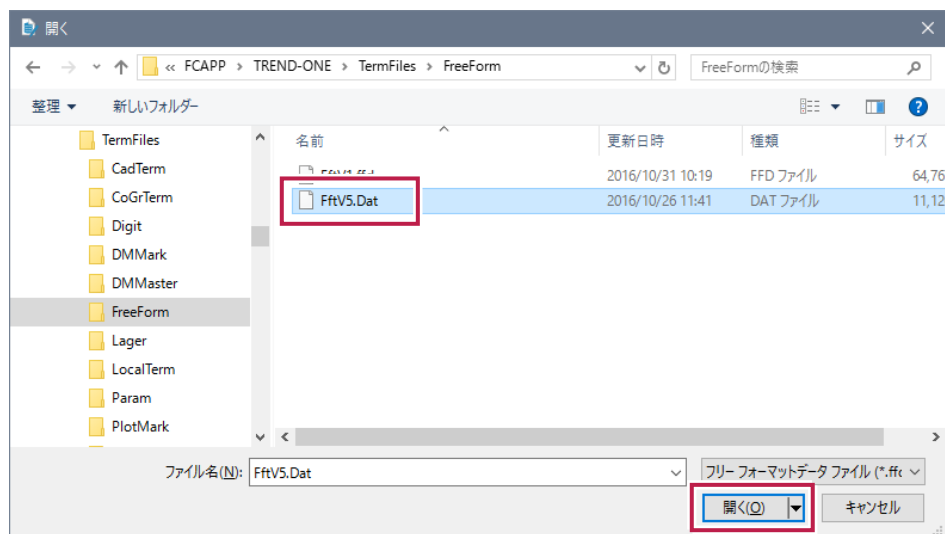
※「FftV5.Dat」の保存先（移行先）フォルダー

スタンドアロンの場合：

C:¥FCAPP¥TREND-ONE¥TermFiles¥FreeForm

サーバーインストール（共同編集あり）（共同編集なし）の場合：

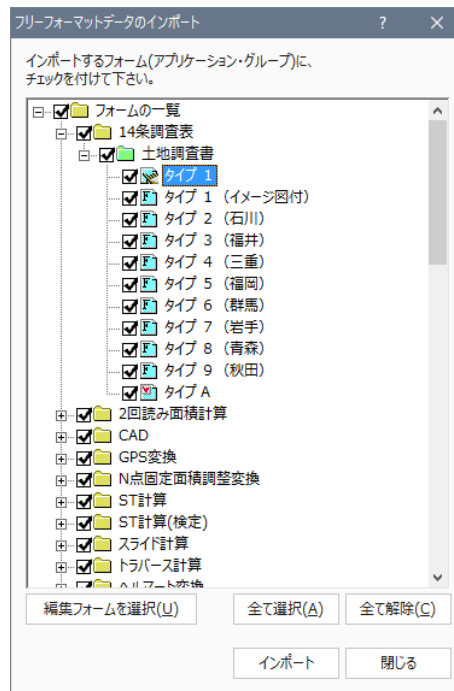
¥¥（サーバー名）¥TREND-ONE_Server¥TermFiles¥FreeForm



(次ページへ続きます)

4. XAのフリーフォーマットのデータが読み込まれます。

※環境にもよりますが「30分～1時間」以上かかる場合があります。ご注意ください。



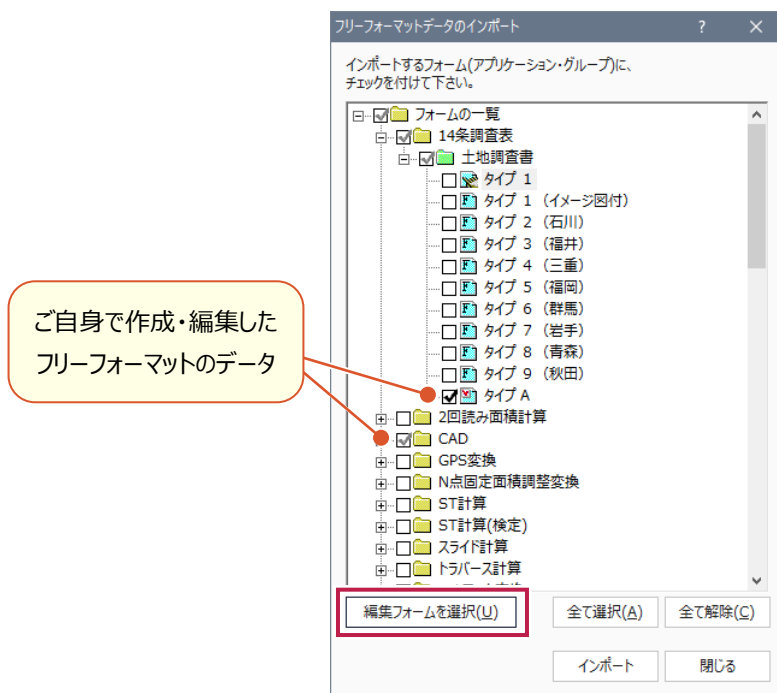
5. [全て解除] をクリックします。 ※重要：必ずおこなってください。



(次ページへ続きます)

6. 「編集フォームを選択」をクリックします。

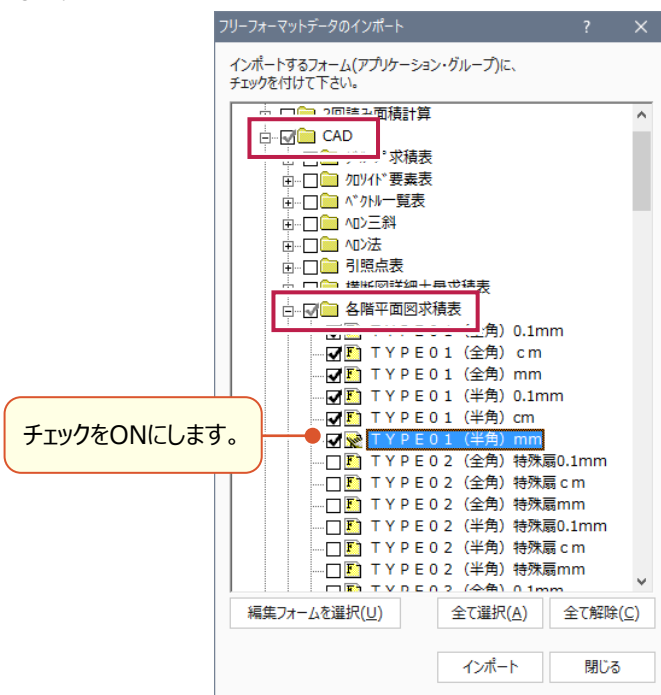
BLUETREND XA で、ご自身で作成・編集したフリーフォーマットのデータのチェックがONになります。



XAの「各階平面図求積表」の初期フォームをインポートする場合は

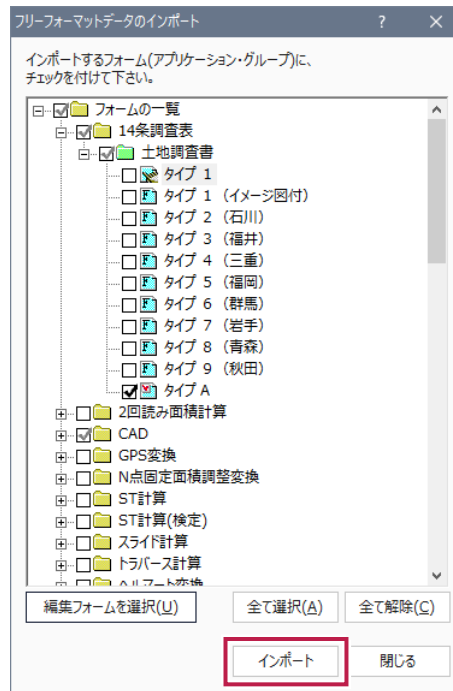
「編集フォームを選択」をクリックしても、XAの「各階平面図求積表」の初期フォームはチェックONになりません。

インポートする場合は「CAD」の「各階平面図求積表」を開いて、インポートするフォームのチェックをONにします。

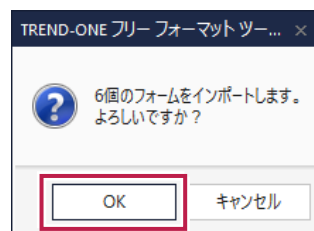


(次ページへ続きます)

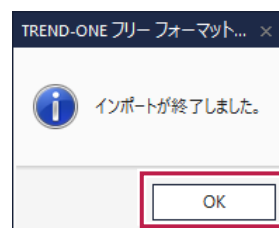
7. 移行するフリーフォーマットデータ（チェックがON）を確認し、よろしければ [インポート] をクリックします。



8. 確認メッセージで [OK] をクリックします。



9. インポートの終了メッセージで [OK] をクリックします。



10. 「フリーフォーマット作成」プログラムを終了します。

以上でフリーフォーマットのデータのインポートは完了です。

現場のバックアップ・リストアを使用しない現場データの移行方法

現場データのバックアップ・リストアは、データが多いと時間がかかる場合があります。

現場データの移行は、次の方法（未登録現場を登録）でも可能です。

- ※ バックアップ・リストアより短い時間で移行できます。
- ※ 一番早く移行できるのは、「現場データ移行ツール」です。

1. エクスプローラーで現場データとリンクデータをコピーする

XAの現場データフォルダーとリンクデータフォルダーの中身を、TREND-ONEの現場データフォルダーとリンクデータフォルダーにコピーします。（以下参照）

ローカル現場：コピー元 → コピー先

「¥BTXA¥BTXADData」フォルダー → 「¥TREND-ONE¥TONEDData」フォルダー

「¥BTXA¥XALinkData」フォルダー → 「¥TREND-ONE¥TOLinkData」フォルダー

サーバー現場：コピー元 → コピー先

「¥BTXAServer¥BTXASvData」フォルダー → 「¥TREND-ONE_Server¥TRENDONESvData」フォルダー

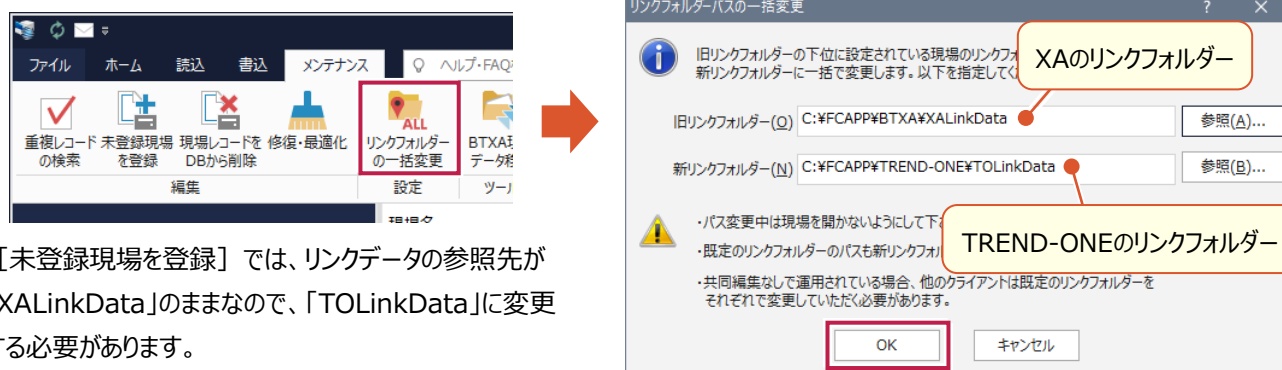
「¥BTXAServer¥XALinkData」フォルダー → 「¥TREND-ONE_Server¥TOLinkData」フォルダー



2. 現場管理で、[メンテナンス] タブ – [未登録現場を登録] を実行する



3. 現場管理で、[メンテナンス] タブ – [リンクフォルダーの一括変更] を実行する



「未登録現場を登録」では、リンクデータの参照先が「XALinkData」のままなので、「TOLinkData」に変更する必要があります。